

宮城県知事 殿

住 所 仙台市太白区あすと長町一丁目一番一号
申請者
氏 名 仙台市病院事業管理者 亀山 元信 印

地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

I 概要

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒982-8502 仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号
氏名	仙台市病院事業管理者 亀山 元信

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

仙台市立病院

3 所在の場所

〒982-8502 仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号 電話(022)308-7111
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
50床	8床	0床	0床	467床	525床

Ⅱ 業務報告

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率 A/B－（C＋D＋E）		77.2%	算定期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率 F/B－（C＋D＋E）		91.4%		
算出 根拠	A：紹介患者の数			12,812人
	B：初診患者の数			24,041人
	C：地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）			4,839人
	D：休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）			2,578人
	E：健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）			19人
	F：逆紹介患者の数			15,173人

（注）1 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

（注）2 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

2 共同利用の実績

医療機関延べ数 （うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数）		726機関 （726機関）
共同診療件数	0件	
医療機器共同利用件数	726件	
共同利用病床数	0床	
共同利用病床利用率	0%	
共同利用施設・設備	建物 図書室及び会議室 機械 磁気共鳴画像診断装置 コンピューター断層撮影装置 核医学診断装置 病床 6床	

3 救急医療の提供の実績

(1) 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	24床
専用病床	16床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(2) 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	6,689人 (2,886人)
上記以外の救急患者の数	6,828人 (2,574人)
合計	13,517人 (5,460人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

・救命救急センター症例検討会 9回 ・PTLS (Primary Trauma Life Support) 勉強会 11回 ・地域連携講演会 1回 ・オープンカンファレンス 2回 ・仙台南地域医療連携を考える会 1回
--

(2) 研修の実績

地域の医療従事者への実施回数 ※当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるもの	24回
上記の合計研修者数（うち院外参加者数） ※前年度の研修生の実数	126（50）人
研修プログラムの有無	有
研修委員会設置の有無	有
研修指導者数	27人
研修施設	・会議室65.0㎡ 収容定員40人（主な設備：音響システム、スクリーン、プロジェクター等） ・講堂322.0㎡ 収容定員300人（主な設備：音響システム、スクリーン、プロジェクター等）

研修指導者氏名	職種	所属	職名（兼務含む）	臨床 経験 年数	
八木 哲夫	医師	循環器内科	副院長（兼）診療部長（兼）循環器内 科部長（兼）糖尿病・代謝内科部長 （兼）皮膚科部長（兼）歯科口腔外科 部長	33	教育責 任者
藤原 幾磨	医師	小児科	小児科部長（兼）新生児集中治療科長	34	
貝羽 義浩	医師	外科	医療技術部副部長（兼）外科医長	34	
野村 栄樹	医師	消化器内科	消化器内科医長（兼）救命救急センタ ー救急科医長	24	
宮内 健一郎	医師	内科	内科医長	9	
八重柏 政宏	医師	呼吸器内科	呼吸器内科部長	36	
山本 譲司	医師	血液内科	血液内科部長	23	
遠藤 薫	医師	脳神経内科	脳神経内科部長（兼）救命救急センタ ー救急科医長	17	
井泉 知仁	医師	糖尿病・代謝内 科	糖尿病・代謝内科医長	15	
八田 益充	医師	感染症内科	感染症内科部長（兼）医療安全管理課 感染対策室長（兼）救命救急センタ ー救急科医長	20	
外山 秀司	医師	心臓血管外科	心臓血管外科医長（兼）外科医長 （兼）救命救急センター救急科医長 （兼）集中治療科医長	24	
成澤 あゆみ	医師	脳神経外科	脳神経外科医長	19	
入江 太一	医師	整形外科	整形外科医長（兼）救命救急センタ ー救急科医長	24	
小坂 和弘	医師	形成外科	形成外科部長	37	
佐藤 博俊	医師	精神科	精神科部長	19	
草刈 良之	医師	皮膚科	皮膚科医長	23	
青木 大志	医師	泌尿器科	泌尿器科医長	25	
平山 亜由子	医師	産婦人科	産婦人科医長	17	
桑原 創一郎	医師	眼科	眼科部長（兼）救命救急センタ ー救急科医長	32	
小倉 正樹	医師	耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科部長	26	
津田 雅視	医師	放射線科	放射線科部長	29	
渋谷 里絵	医師	病理診断科	病理診断科部長	21	
亀山 良亘	医師	麻酔科	麻酔科医長	28	
近田 祐介	医師	救急科	救急科医長	14	
亀山 元信	医師		病院事業管理者	43	
奥田 光崇	医師	血液内科	院長	36	
杉本 美枝子	看護 師	看護部	看護部長	37	

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	院長 奥田 光崇
管理担当者氏名	看護部長 杉本美枝子、経営医事課長 文屋 健 総合サポートセンター副センター長 福井 健司

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		看護部 経営医事課	シリアルナンバーファイリング方式
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	総合サポートセンター	
	救急医療の提供の実績	経営医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総合サポートセンター	
	閲覧実績	総合サポートセンター	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	総合サポートセンター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	院長 奥田 光崇	
閲覧担当者氏名	看護部長 杉本美枝子、経営医事課長 文屋 健 総合サポートセンター副センター長 福井 健司	
閲覧の求めに応じる場所	総合サポートセンター、経営医事課	
前年度の総閲覧件数	0 件	
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

委員会の開催回数	1 回	
委員会における議論の概要		
(1) 地域医療支援病院業務報告について ・ 令和2年度の紹介率および逆紹介率 ・ 研修の実績 ・ 医療福祉相談の状況 等 (2) 令和2年度における病床調整室業務の取組状況について ・ 入院前の看護面談 ・ 病床の一元管理 ・ 午後入院の促進 等		

8 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・ その他（各病棟、患者宅等）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	畠山 稔 (医療ソーシャルワーカー) 大竹 茜 (医療ソーシャルワーカー) 西村 直哉 (医療ソーシャルワーカー) 秋山 愛 (医療ソーシャルワーカー) 澤井 彰 (医療ソーシャルワーカー) 山田 杏菜 (医療ソーシャルワーカー) 平 ゆりか (医療ソーシャルワーカー) 千坂 直史 (医療ソーシャルワーカー) 小野 麻美 (医療ソーシャルワーカー) 原田 省吾 (医療ソーシャルワーカー) 大島 和美 (医療ソーシャルワーカー) 須田 直子 (医療ソーシャルワーカー) 佐藤 美幸 (看護師) 菊地 晶子 (看護師) 戸澤 美和 (保健師) 今野 敦子 (保健師) 高木 吉雄 (窓口相談員) 佐藤 紗矢 (窓口相談員) 富岡 なみえ (窓口相談員)
患者相談件数	19,978件
患者相談の概要	
別紙「医療福祉相談に関する調べ」参照	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(別紙)

医療福祉相談に関する調べ

診療科別件数

(単位:件)

科名 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	比率 (%)
内 科	2,118	2,189	2,642	2,763	3,342	16.7
糖尿病・代謝内科	206	238	218	260	262	1.3
消化器内科	1,723	1,923	1,810	1,735	1,788	8.9
循環器内科	1,734	1,566	1,438	1,912	1,077	5.4
脳神経内科	1,262	2,018	2,347	2,210	1,909	9.6
外 科	1,250	1,305	1,246	1,738	1,650	8.3
整形外科	1,655	2,109	2,042	1,855	1,845	9.2
脳神経外科	1,161	1,330	1,458	1,815	1,566	7.8
小 児 科	792	776	658	841	562	2.8
産 婦 人 科	400	370	352	541	706	3.5
耳鼻いんこう科	68	95	99	91	62	0.3
眼 科	52	88	142	100	85	0.4
皮 膚 科	89	125	73	70	63	0.3
泌 尿 器 科	629	550	708	637	650	3.3
放 射 線 科	1	1	4	2	0	0.0
麻 酔 科	1	9	0	6	14	0.1
精 神 科	1,890	1,879	1,632	1,672	1,204	6.0
歯科口腔外科	13	27	5	24	31	0.2
心臓血管外科	477	515	565	532	549	2.8
形 成 外 科	54	40	29	39	6	0.1
救 急 科	1,130	1,623	2,120	3,859	2,225	11.1
そ の 他	152	180	225	325	382	1.9
合 計	16,857	18,956	19,813	23,027	19,978	100

援助内容別相談件数

(単位:件)

項目 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	比率(%)
(1) 受診援助・患者教育・病院の機能サービス内容説明	2,042	4,612	6,001	4,937	4,226	17.1
(2) 患者家族の疾病医療に伴う心理社会的問題への調整援助	2,805	893	844	757	667	2.7
(3) 治療過程における他職種への助言等, 診断治療方針決定への参加	3,423	5,579	5,438	5,048	3,339	13.5
(4) 公費医療・身障手帳・年金等諸法制度活用援助	3,164	1,230	1,219	822	930	3.8
(5) 医療費区分・医療費支払いに関する援助	2,420	941	906	621	650	2.6
(6) 転院・転科・施設入所等への援助	5,717	9,231	8,845	8,333	8,125	32.8
(7) 社会復帰(職場・学校等)への援助	71	126	62	27	31	0.1
(8) 在宅療養への援助	7,079	3,140	3,032	2,447	2,835	11.4
(9) 地域関係機関・他病院との連絡調整	6,086	4,166	4,032	3,889	3,894	15.7
(10) その他	1,075	2,642	875	722	76	0.3
合 計	33,882	32,560	31,254	27,603	24,773	100

※1件の相談で複数の内容に係る相談があるため、前頁の診療科別件数の合計とは一致しない。

3 相談件数に対する援助内容別件数の変化

援助内容別延件数
診療科別延件数

=

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
2.01件	1.72件	1.58件	1.20件	1.24件

9 その他の地域医療支援病院に求められる取組み（参考）

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 （財）日本医療機能評価機構「病院機能評価Ver5.0」（平成10年5月） （財）日本医療機能評価機構「病院機能評価3rdG:Ver1.1」（平成30年4月） WHO・ユニセフ「赤ちゃんにやさしい病院」認定（平成25年8月）	
② 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 冊子「診療のご案内」、広報誌「renkei」で広報 診療科紹介「あすと」で広報 当院ホームページで広報	
③ 退院調整部門の有無	☒ 有・無
・退院調整部門の概要 8 患者相談の実績参照	
④ 地域連携クリティカルパスの策定	☒ 有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 大腿骨頸部骨折パス 脳卒中パス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 両パスともネットワーク会議に積極的に参加するとともに、対象となる可能性のある患者に対し 入院後早期に地域連携クリティカルパスについて説明している。	

（注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。